

奨励品種編入に関する資料

~~~~~水稻（うるち）コガネヒカリ~~~~~

昭和57年1月

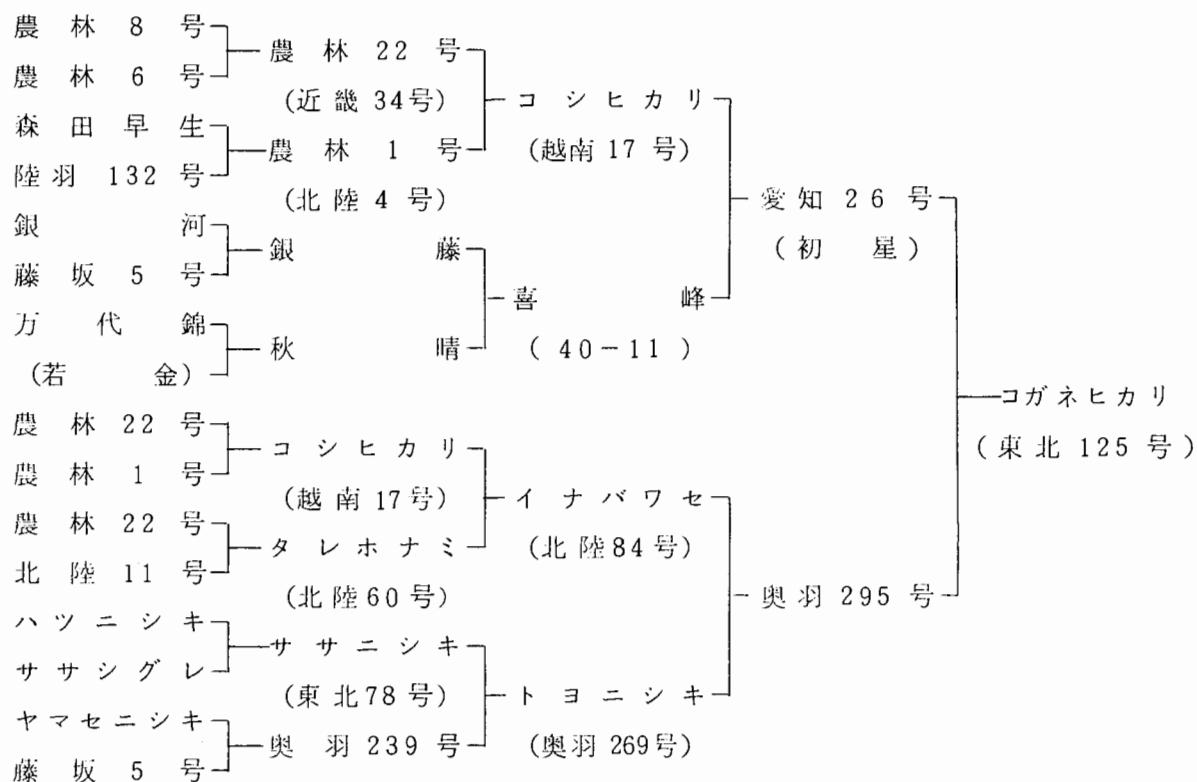
I 来 歴

「コガネヒカリ」は、昭和49年4月に、宮城県古川農業試験場において、中生の強稈良質耐病品種の育成を目標として、良食味系統である「愛知26号」(のちの「初星」)を母とし、良質強稈耐病系統である「奥羽295号」を父として人工交配が行なわれ、その後代から育成された品種である。昭和49年7月から同50年3月までの間にF₁～F₃を温室で世代促進栽培し、同50年夏期に本田においてF₄雑種集団を栽培して個体選抜を行ない、翌年から系統栽培をして選抜固定をはかってきたものである。

昭和52年「古2839」として生産力検定試験、特性検定試験ならびに系統適応性検定試験に供試し、昭和53年「東北125号」の系統名で各県に配布された。

岩手県においては、昭和53年から県南分場で生産力検定予備調査に供試し、昭和55年から生産力検定調査並びに現地調査に供試して、収量及び特性を検討した結果有望と認められた。

系 譜



II 特性概要

1. 形態的特性

- 1) 移植時の苗の草丈は、トヨニシキ並で葉色は濃く葉身のたれが少ない。
- 2) 最高分けつ期の草丈は、トヨニシキよりやや長く、茎数の確保も容易である。穂首分化期以降葉色は淡緑となり草姿良好となるが、出穂後は止葉はやや大きく開く。
- 3) 成熟期の稈長はトヨニシキより5 cm～6 cm程度短かく、穂長はトヨニシキ並、穂数はトヨニシキより多い、やや短稈の中間型品種である。
- 4) 粳の粒着はやや疎で、2次枝梗の着粒が少なく、出穂後の登熟速度はトヨニシキ並、登熟歩合はササニシキよりまさるが、トヨニシキよりやや劣る。
- 5) 穂揃、熟色とも良好で、少程度の短芒を有し、ふ先色は黄白である。
- 6) 玄米の粒形は中円で千粒重はトヨニシキより0.7 g～1.3 g程度重く光沢、色沢は良好であるが、登熟期の気象不良年次ではトヨニシキより腹白が目立ち未熟粒が出易い。平常年ではトヨニシキ、ササニシキ並の品質である。
- 7) 搗精歩合はササニシキ並で、搗精時間はトヨニシキより短く、胚芽の残存も少ない。
- 8) 食味の評価はササニシキに及ばないが、トヨニシキ、キヨニシキよりすぐれている。
- 9) 収量性は標肥、多肥条件ともトヨニシキ、ササニシキより多収である。

2. 生態的特性

- 1) 出穂はトヨニシキ並であるが、成熟期はトヨニシキよりやや早い。
- 2) 強稈で倒伏抵抗性はトヨニシキ並か、ややまさる。
- 3) いもち病真性抵抗性遺伝子はPi-aと推定され耐病性は葉・穂いもち病ともにトヨニシキよりやや劣るが、キヨニシキよりは強い。
- 4) ササニシキ、トヨニシキより不稔の発生は少く、耐冷性はトヨニシキ、ササニシキよりは強い。
- 5) 低温登熟性は、トヨニシキより劣るが、ササニシキよりまさるものと思われる。

III 岩手県で奨励品種に採用する理由

最近の米の需給事情から、食味の良好な商品性の高い米の生産と異常気象に対応した安定品種の選定が強く要望されている。

コガネヒカリは、昭和53年から県南分場並びに県中部以南の現地試験で検討した結果、ササニシキ、トヨニシキにまさる多収性と耐冷性をもち、いもち耐病性はトヨニシキよりやや劣るが、ササニシキよりまさり、やや短稈でトヨニシキ並の耐倒伏性と耐肥性をもった安定品種である。特に食味はトヨニシキより良好でササニシキに近い食味をもっていることから、奨励品種に編入して収量の安定化と食味の向上をはかりたい。

IV 適応地帯

北上川中流（紫波以南）から北上川下流地帯、東南部の平坦地、南部沿岸（釜石以南）地帯を対象とする。対象品種としては主としてトヨニシキ、またはササニシキで、その栽培がやや不安定な地帯（地下水位高、排水不良田、高標高100～150m）の水田に作付されたものを対象とする。

普及見込面積 7,000 ha～10,000 ha。

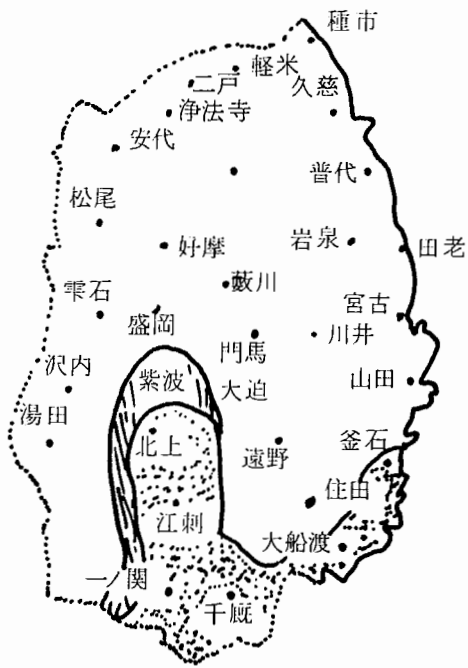


図1 適応地帯区分

注) 縦線の地帯は出穂が8月20日以降
 になった場合は出穂後40日間の平均
 気温20℃を確保できない地帯を示す

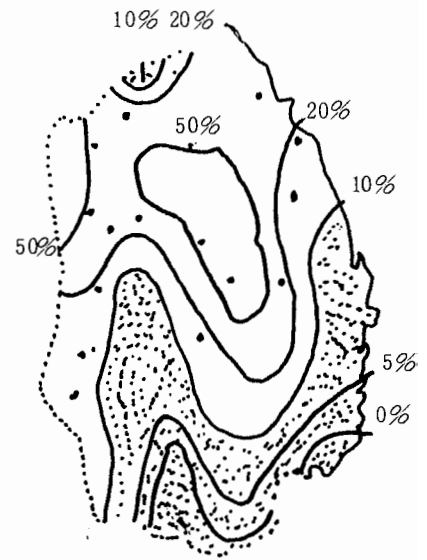


図2 登熟期間40日間の積算気温が
 760℃を割る頻度(8月15日出穂)

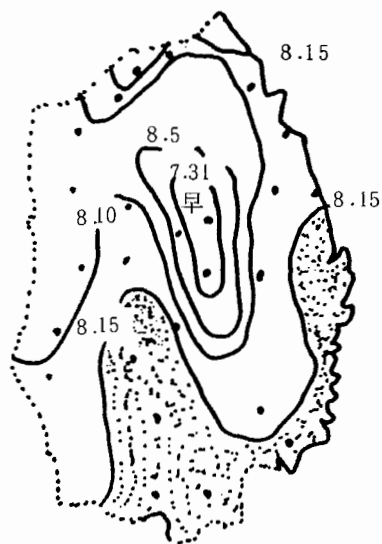


図3 好適出穂期(月・日)
 (出穂後40日間の平均気温
 21℃の起日)

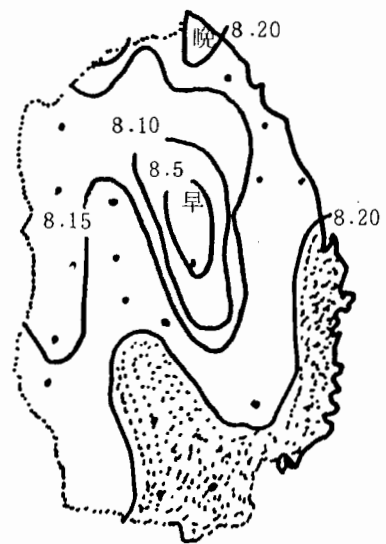


図4 安全出穂期晩限(月・日)
 (出穂後40日間の平均気温
 20℃の起日)

V 栽培上の留意点

- 1 いもち耐病性はササニシキよりまさるが、トヨニシキより劣ることから、いもち病および紋枯病の防除は基準に従って適期防除に努めること。
- 2 登熟期の気象不良年次には未熟粒の発生が多くなることから、出穂遅延を招くような栽培をさけ登熟良化を計ること。
- 3 窒素施用量はトヨニシキ並とする。とくに穂首分化期以降の葉色はトヨニシキに比較して淡緑であることから、トヨニシキの葉色の慣れで無理な追肥をしないよう留意する。
- 4 コガネヒカリの刈取適期幅は1,000℃～1,150℃で、1,200℃を超えると玄米の光沢色沢が劣りまた茶米の発生が多くなり品質低下を招くので刈取時期に注意する。

VI 試験成績概要

1. 特性調査

1) 総括表

品 種 名	苗 丈	苗葉色	稈		芒		ふ先色	粒 着 密 度	脱 粒 難 易
			細 太	剛 柔	多 少	長 短			
コガネヒカリ	中	やや濃	やや太	やや剛	少	短	黄 白	やや疎	難
トヨニシキ	中～ やや長	やや濃	中	やや剛	少	短	黄 白	中	難
キヨニシキ	中	やや濃	やや太	中	中	中	黄 白	やや密	難
ササニシキ	中	中	やや細	柔	極 少	短	黄 白	中	難

2) 稈 質

(古川農試調査)

	品 種 名	稈 基 径 (mm)		稈 基 重 (mg/10 cm/本)	稈 挫 折 重 (g)	
		第 3 節 間	第 4 節 間		第 4 節 間	第 3 節 間
生 検 標 肥 区	コガネヒカリ	3.38	3.87	158	240	371
	トヨニシキ	3.16	3.31	137	240	325
	キヨニシキ	3.23	3.50	144	220	326
	ササニシキ	2.99	3.27	107	151	226
生 検 多 肥 区	コガネヒカリ	3.35	3.91	131	230	325
	トヨニシキ	3.24	3.68	114	208	295
	キヨニシキ	3.19	3.74	135	207	319
	ササニシキ	2.94	3.30	96	166	252

2. 生育調査

1) 標肥条件

(1) 成苗移植

(生産力検定予備調査・県南分場)

品 種 名	年 次	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟日数 (日)	倒 伏	成 熟 期		
						稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)
コガネヒカリ	53	8. 4	9. 18	45	0	81. 1	19. 3	355
	54	8. 7	9. 19	43	0	81. 0	18. 6	370
	平均	8. 6	9. 19	44	0	81. 1	19. 0	363
(比)トヨニシキ	53	8. 3	9. 18	46	0~0.3	87. 9	19. 1	354
	54	8. 7	9. 22	46	0~0.1	82. 0	18. 3	334
	平均	8. 5	9. 20	46	0~0.2	85. 0	18. 7	344
(比)ササニシキ	53	8. 4	9. 22	49	1.2	86. 3	18. 7	416
	54	8. 9	9. 24	46	1.3	84. 0	17. 7	438
	平均	8. 7	9. 23	48	1.3	85. 2	18. 2	427

(2) 稚苗移植

(生産力検定調査・県南分場)

品 種 名	年 次	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟日数 (日)	倒 伏	成 熟 期		
						稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)
コガネヒカリ	55	8. 7	9. 27	51	0	60. 8	17. 5	469
	56	8. 14	10. 12	60	0. 2	82. 1	20. 1	395
	平均	8. 11	10. 5	56	0. 1	71. 5	18. 8	432
(比)トヨニシキ	55	8. 9	10. 3	55	0	65. 3	17. 6	422
	56	8. 14	10. 11	59	0. 3	88. 3	19. 7	340
	平均	8. 12	10. 7	57	0. 2	76. 8	18. 7	381
(比)ササニシキ	55	8. 9	10. 3	55	0	68. 3	17. 5	556
	56	8. 14	10. 14	62	3. 2	88. 8	20. 0	444
	平均	8. 12	10. 9	59	1. 6	78. 6	18. 8	500

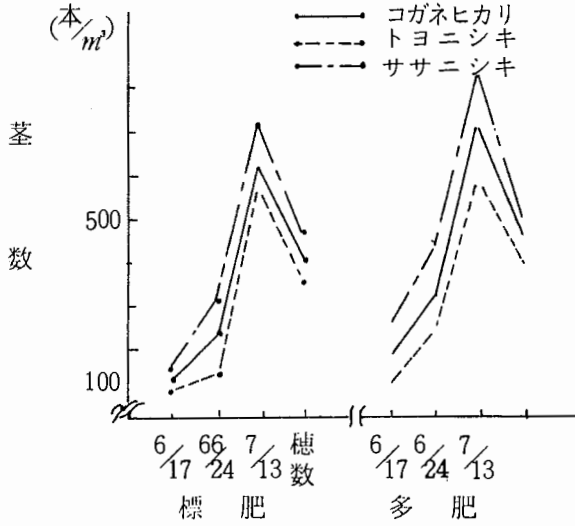
2) 多肥条件

(1) 稚苗移植

(生産力検定調査・県南分場)

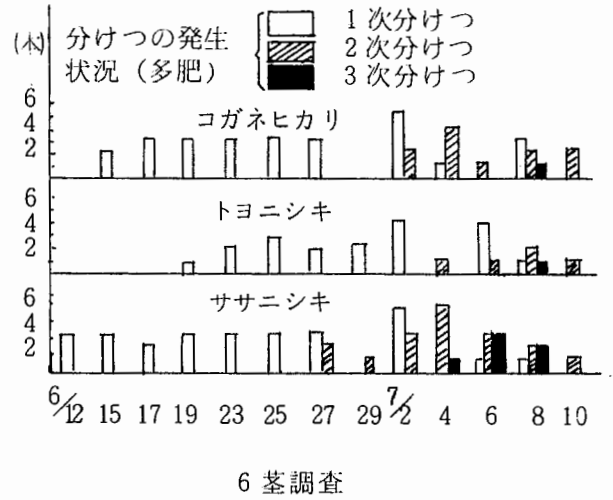
品 種 名	年 次	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟日数 (日)	倒 伏	成 熟 時		
						稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)
コガネヒカリ	55	8. 9	10. 2	55	0	64. 8	17. 9	498
	56	8. 14	10. 13	61	1. 9	86. 8	20. 4	448
	平均	8. 12	10. 8	58	1. 0	75. 8	19. 2	473
(比)トヨニシキ	55	8. 11	10. 4	55	0	72. 0	17. 6	495
	56	8. 14	10. 13	61	2. 2	92. 8	20. 0	395
	平均	8. 13	10. 9	58	1. 1	82. 4	18. 8	445
(比)ササニシキ	55	8. 11	10. 5	56	0	73. 4	17. 4	592
	56	8. 14	10. 16	64	3. 7	95. 2	19. 6	495
	平均	8. 13	10. 11	60	1. 9	84. 3	18. 5	544

3) 茎数の推移



(S・56生検・県南分場)

凡 例



3. 収量調査

1) 標肥条件

(1) 成苗移植

(生産力検定予備調査・県南分場) kg/a

品 種 名	年次	ワラ重	籾/ワラ	精籾重	屑米重歩合(%)	籾摺歩合(%)	玄米重	玄米重比率(対トヨ)	玄米千粒重(g)	品 質
コガネヒカリ	53	67.4	1.14	77.0	0.4	80.4	61.9	101	22.1	4
	54	67.7	1.14	76.9	0.5	82.4	59.7	109	22.3	3
	平均	67.6	1.14	77.0	0.5	81.4	60.8	104	22.2	3.5
(比)トヨニシキ	53	81.3	0.94	76.7	0.5	81.4	61.6	100	21.5	3
	54	66.5	1.00	66.5	0.2	82.1	54.7	100	22.1	4
	平均	73.9	0.97	71.6	0.4	81.8	58.2	100	21.8	3.5
(比)ササニシキ	53	69.3	1.14	79.0	1.6	80.4	65.2	106	21.3	3
	54	68.5	1.15	79.0	1.3	78.0	61.5	112	21.6	3
	平均	68.9	1.15	79.0	1.5	79.2	63.4	109	21.5	3.0

(2) 稚苗移植

(生産力検定調査・県南分場) kg/a

品 種 名	年次	ワラ重	籾/ワラ	精籾重	屑米重歩合(%)	籾摺歩合(%)	玄米重	玄米重比率(対トヨ)	玄米千粒重(g)	品 質
コガネヒカリ	55	49.2	1.45	71.3	0.9	82.4	58.8	113	22.6	3
	56	70.2	1.12	78.3	2.6	81.2	63.6	110	24.0	3
	平均	59.7	1.29	74.8	1.8	81.8	61.2	111	23.3	3
(比)トヨニシキ	55	49.9	1.28	63.7	0.5	81.7	52.0	100	21.1	3
	56	67.5	1.07	72.3	3.6	79.8	57.7	100	22.9	3
	平均	58.7	1.18	68.0	2.1	80.8	54.9	100	22.0	3
(比)ササニシキ	55	52.9	1.38	72.5	1.6	81.0	59.0	113	20.6	3
	56	67.5	1.10	74.0	4.5	79.0	58.3	101	22.8	3
	平均	60.2	1.24	73.3	3.1	80.0	58.7	107	21.7	3

2) 多肥条件

稚苗移植

(生産力検定調査・県南分場)

kg/a

品 種 名	年次	ワラ重	籾/ワラ	精籾重	屑米重歩合(%)	籾摺歩合(%)	玄米重	玄米重比率(対トヨ)	玄米千粒重(g)	品 質
コガネヒカリ	55	60.9	1.31	79.1	1.1	82.2	64.9	109	22.0	4
	56	77.4	1.03	79.8	3.7	80.1	63.9	105	23.3	3
	平均	69.2	1.17	79.5	2.4	81.2	64.4	107	22.7	3.5
(比)トヨニシキ	55	64.9	1.13	70.0	0.7	81.6	59.5	100	21.1	3
	56	74.8	1.03	77.1	3.4	79.3	61.1	100	22.8	3
	平均	69.9	1.08	73.6	2.1	80.5	60.3	100	22.0	3
(比)ササニシキ	55	67.6	1.14	75.4	2.1	80.1	60.3	101	20.6	3
	56	73.8	1.94	69.4	5.6	77.7	53.9	88	22.3	3
	平均	70.7	1.04	72.4	3.9	78.9	57.1	95	21.5	3

4. 収量構成要素の比較

(生産力検定試験・県南分場)

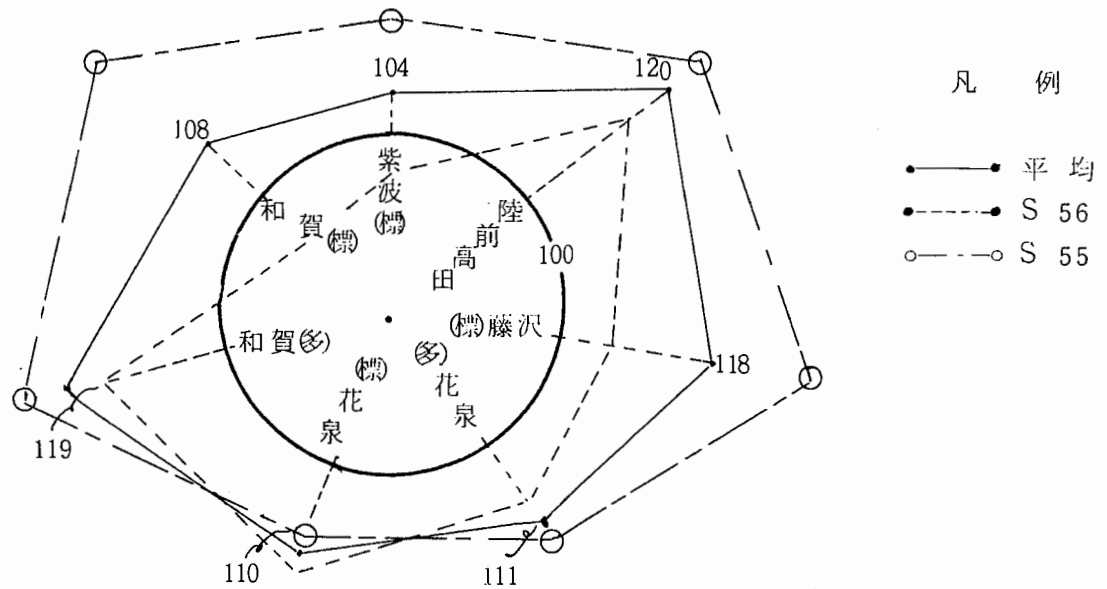
品 種 名	年次	玄米重(kg/a)	穂 数(本/m ²)	籾着生歩合(%)		一穂籾数(粒)	m ² 籾数(千粒)	登熟歩合(%)	玄米千粒重(g)
				1次	2次				
標肥	コガネヒカリ	55	469	69.1	30.9	61.9	29.0	86.9	22.6
		56	395	62.5	37.5	83.2	32.9	73.7	24.0
		平均	432	65.8	34.2	72.6	31.0	80.3	23.3
肥条	トヨニシキ	55	422	66.2	33.8	66.3	28.0	90.8	21.1
		56	340	62.4	37.6	91.2	31.0	75.2	22.9
		平均	381	64.3	35.7	78.8	29.5	83.0	22.0
件	ササニシキ	55	556	57.3	42.7	64.2	35.8	80.6	20.0
		56	444	51.5	48.5	88.1	39.1	60.6	22.8
		平均	500	54.4	45.6	76.2	37.5	70.6	21.4
多肥	コガネヒカリ	55	498	65.2	34.8	69.3	34.5	83.1	22.0
		56	448	63.2	36.8	83.9	37.6	65.9	23.3
		平均	473	64.2	35.8	76.6	36.1	74.5	22.7
肥条	トヨニシキ	55	495	67.2	32.8	68.9	34.1	84.3	21.1
		56	395	62.1	37.9	92.1	36.4	70.6	22.8
		平均	445	64.7	35.4	80.5	35.3	77.5	22.0
件	ササニシキ	55	592	59.3	40.7	66.3	39.3	75.6	20.6
		56	495	49.7	50.3	90.5	44.8	58.5	22.3
		平均	544	54.5	45.5	78.4	42.1	67.1	21.5

注) 標肥 N 0.5 + 0.15 + 0.15、P 1.0、K 0.5 + 0.15 + 0.15

多肥 N 0.7 + 0.15 + 0.15、P 1.0、K 0.5 + 0.15 + 0.15

5. 現地調査の成績

1) 現地試験の収量比率一覧 (対トヨニシキ 昭55、56 2ヶ年平均値)



2) 現地試験の概評一覧

場 所	優 点	欠 点	評 価	どの品種と 変わりうるか
紫 波	55 収量高い、強稈、穂揃い良 耐肥性高い、登熟早い		◎	ササミノリ キヨニシキ
	56 短稈、穂揃い良好、登熟早い		○	トヨニシキ
和 賀	55 穂揃いよく登熟も早い 収量性あり良質		◎	ササニシキ
	56 穂揃い良、強稈、耐冷性強い		◎	トヨニシキ
藤 沢	55 多 収		○	トヨニシキ
	56 良質、多収、短稈、強稈	腹白、穂数確保やや困難	◎	トヨニシキ
花 泉	55 穂数多く穂揃い良い 良質、多肥多収、粒揃い良	やや短稈	◎	ササニシキ
	56 多収、登熟良好、強稈	米質やや劣る	◎	トヨニシキ
陸 前 高 田	55 品質良、光沢良	モンガレ弱	◎	トヨニシキ
	56 多収、穂数確保容易	短稈である、整粒歩合悪い (未熟粒多)	△	トヨニシキ
六 原	55 品質トヨニシキ並 収量はトヨニシキを上回る		△	

6. 品質調査

1) 玄米の観察調査

(昭56・県南分場)

品 種 名	粒 形	粒 大	光 沢	透 明 度	み ぞ の 浅 深	玄 米 干 粒 重 (g)	品 質	等 級
コガネヒカリ	中	中	やや良	やや良	やや浅	24.0	上 の 下	2 の 下
キヨニシキ	中	中	良	〃	やや浅	23.6	上 の 下	3 の 中
トヨニシキ	中	中	〃	良	浅	22.8	上 の 下	2 の 上
ササニシキ	中	中	やや良	〃	浅	22.9	上 の 下	3 の 中

2) 玄米の品質調査

(昭55・県南分場)

施肥条件	品 種 名	整 粒 (%)						未 熟 粒 (%)				
		活 青	腹白米	心 白	軽胴割	完全米	計	腹 未 熟	基 部 未 熟	青未熟	その他	計
標 肥	コガネヒカリ	2.9	0.1	0.2	—	82.6	85.8	0.0	0.0	4.6	0.0	4.6
	キヨニシキ	3.8	2.1	0.0	—	70.5	76.4	0.0	0.0	10.6	0.0	10.6
	トヨニシキ	1.2	0.9	0.9	—	87.7	90.7	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7
	ササニシキ	2.0	0.4	0.4	—	84.5	89.6	0.1	0.0	4.8	0.0	4.9
多 肥	東 北 125号	2.6	1.1	0.0	—	80.0	83.7	0.0	0.0	7.8	0.6	8.4
	キヨニシキ	0.8	0.9	0.0	—	81.0	82.7	0.0	0.8	5.1	0.0	6.0
	トヨニシキ	3.3	0.1	0.0	—	81.3	84.7	0.0	0.2	6.7	0.0	6.9
	ササニシキ	1.7	3.0	0.0	—	84.7	89.3	0.1	0.0	6.6	0.0	6.7

施肥条件	品 種 名	被 害 粒 (%)							死 米 (%)		
		発芽粒	強胴割	奇 形	茶 米	胴切米	碎 米	計	白死米	青死米	計
標 肥	コガネヒカリ	0.0	—	7.4	0.0	0.0	0.7	8.1	0.5	1.0	1.5
	キヨニシキ	0.0	—	9.1	0.0	0.0	0.4	9.5	1.2	1.6	2.8
	トヨニシキ	0.0	—	6.1	0.0	0.0	0.7	6.8	0.4	0.4	0.8
	ササニシキ	0.0	—	3.5	0.0	0.0	0.4	3.9	0.9	0.7	1.6
多 肥	コガネヒカリ	0.0	—	4.9	0.0	0.0	0.5	5.4	0.8	1.5	2.3
	キヨニシキ	0.0	—	3.4	5.1	0.0	1.4	9.9	0.6	0.7	1.3
	トヨニシキ	0.0	—	8.2	0.0	0.0	0.1	8.3	0.0	0.0	0.0
	ササニシキ	0.0	—	3.1	0.0	0.0	0.9	4.0	0.0	0.0	0.0

施肥条件	品 種 名	整 粒 (%)						未 熟 粒 (%)				
		活 青	腹白米	心 白	軽胴割	完全米	計	腹 未	白 熟	基 未	部 熟	青未熟
標 肥	コガネヒカリ	8.4	35.8	0.0	2.0	28.5	74.7	1.9	0.8	7.9	0.0	10.7
	キヨニシキ	8.0	47.8	0.7	3.7	17.5	77.7	3.7	0.1	5.4	5.1	14.3
	トヨニシキ	8.2	14.8	0.0	1.8	57.0	81.8	0.2	0.2	5.5	0.0	5.9
	ササニシキ	7.3	34.0	0.1	4.0	25.2	70.6	1.2	0.8	6.1	0.0	8.1
多 肥	コガネヒカリ	12.9	28.5	0.0	2.1	30.3	73.9	1.3	0.9	6.1	0.0	8.3
	キヨニシキ	15.7	33.2	1.3	1.4	24.6	76.1	2.6	0.0	6.5	3.5	12.7
	トヨニシキ	10.3	13.7	0.1	2.4	53.8	80.3	0.0	0.2	5.3	0.0	5.5
	ササニシキ	13.2	31.6	0.0	4.0	28.3	77.1	0.7	0.2	5.4	0.2	6.5

施肥条件	品 種 名	被 害 粒 (%)							死 米 (%)		
		発芽粒	強胴割	奇 形	茶 米	胴切米	碎 米	計	白死米	青死米	計
標 肥	コガネヒカリ	0.0	2.3	1.3	3.5	0.1	0.7	7.9	1.1	5.5	6.6
	キヨニシキ	0.0	1.3	0.1	2.4	0.0	0.4	4.2	0.8	3.0	3.8
	トヨニシキ	0.1	2.6	0.5	4.0	1.1	0.0	8.3	0.8	3.1	3.9
	ササニシキ	0.0	2.5	0.7	5.8	0.0	0.6	9.6	3.7	8.0	11.7
多 肥	コガネヒカリ	0.0	0.6	1.3	6.6	0.2	0.8	9.5	1.2	7.1	8.3
	キヨニシキ	0.0	3.5	0.5	2.5	0.0	0.5	7.0	1.6	2.6	4.2
	トヨニシキ	0.0	2.5	0.9	5.7	0.0	0.3	9.4	0.3	4.4	4.7
	ササニシキ	0.0	1.8	0.0	4.9	0.0	0.4	7.1	2.7	6.7	9.4

3) 検 査 等 級

品 種 名	標 肥		多 肥	
	55	56	55	56
コガネヒカリ	1 の下	2 の下	1 の下	2 の上
トヨニシキ	2 の上	2 の上	1 の下	1 の下
キヨニシキ	1 の中	3 の中	1 の下	2 の中
ササニシキ	1 の中	3 の中	1 の下	3 の中

注) ① 岩手食糧事務所 江刺支所検査

② 検査試料は県南分場生産力検定試験材料を使用

4) 玄米の形態

(1) 古川農試

品 種 名	昭 5 5					昭 5 6				
	長さ(mm)	幅 (mm)	厚さ(mm)	長/幅	長×幅	長さ(mm)	幅 (mm)	厚さ(mm)	長/幅	長×幅
コガネヒカリ	4.94	2.89	2.14	1.71	14.28	5.23	3.02	2.16	1.73	15.79
トヨニシキ	4.82	2.77	2.08	1.74	13.35	5.10	2.92	2.12	1.75	14.89
キヨニシキ	4.82	2.85	2.17	1.69	13.74	5.18	3.05	2.16	1.70	15.80
ササニシキ						5.14	2.88	2.11	1.78	14.80

(2) 県南分場

品 種 名	昭 5 6			
	長 さ (mm)	幅 (mm)	厚 さ (mm)	長 さ × 幅
コガネヒカリ	5.25	3.08	2.17	16.17
キヨニシキ	5.24	3.10	2.15	16.24
トヨニシキ	5.22	3.00	2.18	15.66
ササニシキ	5.25	2.98	2.17	15.65

5) 玄米の粒厚分布

(1) 古川農試

(%)

品 種 名	年次	粒 厚 (mm)							
		2.2 mm 以上	2.1 mm	2.0 mm	1.9 mm	1.8 mm	1.7 mm	1.6 mm	1.6 mm 以下
コガネヒカリ	55	6.5	49.3	36.4	6.2	1.2	0.2	0.1	0.1
トヨニシキ		1.7	31.8	51.5	10.8	3.2	0.7	0.2	0.1
キヨニシキ		6.6	36.9	39.6	12.4	3.4	0.7	0.2	0.2
コガネヒカリ	56	33.3	42.3	17.4	4.4	1.7	0.7	0.1	0.1
トヨニシキ		8.9	45.0	34.2	8.1	2.8	0.8	0.1	0.1
キヨニシキ		21.8	42.8	24.7	6.3	2.7	1.3	0.2	0.2
ササニシキ		5.5	38.1	40.7	8.3	3.5	2.3	0.7	0.9

(2) 県南分場 (標肥条件)

(%)

粒 厚 (mm)		1.6~1.7	1.7~1.8	1.8~1.9	1.9~2.0	2.0~2.1	2.1~2.2	2.2 以上
S 55	コガネヒカリ	0.2	0.7	1.9	13.6	49.4	29.0	5.2
	キヨニシキ	0.4	1.5	3.8	16.1	46.1	25.4	6.8
	トヨニシキ	0.1	0.7	3.4	18.1	53.6	20.7	3.4
	ササニシキ	0.5	1.0	3.5	22.0	50.1	20.7	2.1
S 56	コガネヒカリ	0.2	1.5	3.2	7.5	22.1	40.1	25.4
	キヨニシキ	0.1	0.9	2.2	7.7	34.1	44.6	10.4
	トヨニシキ	0.2	1.4	2.7	6.5	29.3	44.1	15.9
	ササニシキ	0.3	1.7	3.5	6.6	24.3	46.7	16.9

7. 搗精試験

1) 古川農試

昭和55年産米（適搗精時間による成績）

品 種 名	玄 米 分 水 (%)	搗 精 間 時 (秒)	搗 精 歩 合 (%)				胚 芽 残 合 存 (%)	白 度
			1	2	3	平 均		
コガネヒカリ	13.6	70	90.7	90.8	90.6	90.7	3.6	45.8
トヨニシキ	13.4	70	90.7	91.0	90.9	90.9	7.0	44.0
キヨニシキ	13.4	75	91.1	90.8	90.9	90.9	14.2	45.2
ササニシキ	13.9	65	90.7	90.8	90.9	90.8	2.6	46.3

昭和56年産米（適搗精時間による成績）

品 種 名	玄 米 分 水 (%)	搗 精 間 時 (秒)	搗 精 歩 合 (%)				胚 芽 残 合 存 (%)	白 度
			1	2	3	平 均		
コガネヒカリ	16.0	65	90.3	90.6	90.6	90.5	2.7	43.4
トヨニシキ	15.8	70	90.6	90.7	90.5	90.6	4.4	42.8
キヨニシキ	15.9	65	90.6	90.5	90.4	90.5	8.5	40.2
ササニシキ	15.5	65	90.5	90.7	90.9	90.7	4.7	42.3

2) 県南分場

昭和56年産米（適搗精時間による成績）

品 種 名	玄 米 分 水 (%)	搗 精 間 時 (秒)	搗 精 歩 合 (%)				胚 芽 残 合 存 (%)	糠 残 存 率 (%) 1/2以上
			1	2	3	平 均		
コガネヒカリ	13.67	80	91.58	91.59	91.35	91.51	19.4	12.0
トヨニシキ	13.65	88	92.37	92.29	92.07	92.24	20.3	10.3
ササニシキ	14.30	78	91.25	91.18	90.94	91.25	17.2	7.7

注) 搗精試験機 Kett TP II型を使用

回転数 1,320回転 100g 3反復

品 種 名	玄 米 分 水 (%)	搗 精 歩 合 (%)			
		60秒	70秒	80秒	90秒
コガネヒカリ	15.43	93.02	92.12	91.48	—
トヨニシキ	15.08	—	93.22	92.40	91.78
ササニシキ	15.28	92.85	91.99	91.16	—

品 種 名	- 胚 芽 残 存 率 (%)				糠 残 存 率 ($\frac{1}{2}$ 以上) (%)			
	60 秒	70 秒	80 秒	90 秒	60 秒	70 秒	80 秒	90 秒
コガネヒカリ	30.5	22.4	14.7	-	18.7	14.3	9.7	-
トヨニシキ	-	26.7	18.8	12.5	-	16.7	13.5	9.3
ササニシキ	28.9	18.8	11.7	-	10.0	5.9	3.1	-

①適搗精度は糠と胚芽残存程度により判定、搗精の終点は玄米の背部のみぞに $\frac{1}{2}$ 程度の糠が残るまでの搗精とした。

②この方法は〔搗精試験の統一に関する申合わせ要旨（昭46）〕に基づいた。

8. 食味試験

1) 育成地における成績

品 種 名	試験年月日	総合評価	硬 さ	粘 り	口あたり	試験参加者
トヨニシキ		0	0	0	0	古川農試職員 14名
コガネヒカリ	56. 4. 23	0. 727	0	0. 272	0. 727	
キヨニシキ	(55年産米)	0. 182	-0. 364	-0. 273	0. 091	
ササニシキ		1. 000	0	0. 363	1. 091	
トヨニシキ		0	0	0	0	古川農試職員 14名
コガネヒカリ	56. 12. 4	0. 107	0. 000	0. 321	-0. 143	
キヨニシキ	(56年産米)	0. 071	0. 286	-0. 071	0. 143	
ササニシキ		0. 571	0. 571	0. 357	0. 571	
トヨニシキ		0	0	0	0	古川農試職員 16名
コガネヒカリ	56. 12. 14	0. 781	0. 750	0. 531	0. 938	
キヨニシキ	(56年産米)	0. 125	-0. 281	0. 219	0. 031	
ササニシキ		1. 750	1. 125	1. 250	1. 625	

注) 「トヨニシキ」を基準にした評価、硬さは+が軟らかい、その他は+が好ましい値、-がその逆

2) 県南分場における成績 (56年産米)

品 種 名	試 験 年月日	総 合	外 観	香 り	味	粘 り	硬 さ	参 加 者
トヨニシキ	56.11.19	0	0			0		県南分場職員 16名
コガネヒカリ		+1.38	+1.94			+1.44		
ササニシキ		+1.44	+1.25			+2.00		
アキユタカ		+0.13	+0.19			0.13		
トヨニシキ	56.12.14	0	0	0	0	0	0	農試本分場職員 23名
コガネヒカリ		+0.91	+0.83	+0.43	+1.04	+0.61	-0.90	
ササニシキ		+0.43	+0.96	+0.30	+0.39	+0.70	+0.70	
キヨニシキ		+0.30	+0.09	+0.04	+0.61	+0.43	+0.13	
トヨニシキ	56.12.16	0	0	0	0	0	0	水沢地方行連 会議構成員15名
コガネヒカリ		+0.87	+1.07	+0.80	+0.80	+0.47	0.00	
ササニシキ		+0.93	+0.80	+0.33	+0.93	+0.73	+0.07	
キヨニシキ		+0.53	+0.53	+0.33	+0.47	+0.67	+0.47	

注) 「トヨニシキ」を基準にした評価、硬さは+が軟らかい、その他は+が好ましい値
-がその逆

3) テクスチュロメーターによる成績 (古川農試)

テクスチュロメーター測定値 (56年産米)

品 種 名	昭和56年12月10日判定 (3回の平均)			昭和56年12月14日判定 (5回の平均)			判定
	硬 さ (H)	粘 り (-H)	-H /H	硬 さ (H)	粘 り (-H)	-H /H	
コガネヒカリ	4.83	0.88	0.182	5.64	0.78	0.138	○
トヨニシキ	4.52	0.72	0.159	5.62	0.67	0.119	△
キヨニシキ	4.63	0.80	0.173	5.47	0.74	0.135	⊙
ササニシキ	4.45	0.85	0.191	5.06	0.77	0.152	◎

H: 数値大……硬い
 " 小……軟かい
 -H: 数値大……粘りが強い
 " 小……粘りが弱い
 -H/H: 数値大……食味良
 " 小……食味不良

9. 特性検定試験成績

1) いもち病抵抗性

(1) 菌系別抵抗性

(古川農試)

品 種 名	試 験 年 次	P2b	研	稲	北	研	※研	稲	長	推 定 抵 抗 性 遺伝子型
		(303)	53-33 (137)	72 (031)	1 (007)	54-20 (003)	54-04 (003)	168 (101)	68-182 (035)	
コガネヒカリ	昭 55	S	S	R	S	S	R	R	R	Pi - a P
トヨニシキ		S	S	R	S	S	R	R	R	Pi - a
キヨニシキ		S	S	R	S	S	R	R	R	Pi - a
愛 知 旭		S	S	R	S	S	S	R	R	Pi - a
コガネヒカリ	昭 56	S	S	R	S	S	R	R	R	Pi - a
トヨニシキ		S	S	R	S	S	R	R	R	Pi - a
キヨニシキ		S	S	R	S	S	R	R	R	Pi - a
愛 知 旭		S	S	R	S	S	S	R	R	Pi - a

注) 噴霧接種による。

※研 54-04 の病原力が弱いため、圃場抵抗性が強い品種の場合 R 反応を示すことが多い。

(2) 葉いもち

⑦ 育成地における成績 (畑晩播)

品 種 名	推定抵抗性	昭 52	53	54	55	56	平 均	総合判定
	遺 伝 子 型							
コガネヒカリ	Pi - a	6.3	4.8	6.3	5.1	4.6	5.4	強
トヨニシキ	Pi - a	6.0	5.9	6.6	4.5	4.7	5.5	強
キヨニシキ	Pi - a	7.5	5.6	7.3	5.2	4.9	6.1	やや強
ササニシキ	Pi - a	8.3	6.4	7.6	6.0	5.1	6.7	やや弱

注) 数値は発病程度を示す。0 (無病斑) ~ 10 (全茎葉枯死)

3 反覆で発病の初期、中期、後期の 3 回調査の平均値

⑧ 依頼先における成績

品 種 名	福島・相馬 (浜)				平 均	総合判定	愛 知 ・ 山 間					平 均	総合判定
	昭53	54	55	56			昭52	53	54	55	56		
コガネヒカリ	6.5	7.3	3.3		5.7	やや強	4.6	3.8	4.8	3.4	5.5	4.4	やや強
トヨニシキ	5.7	6.8	2.6		5.0	強	5.0	3.9	4.3	2.5	4.7	4.1	強
キヨニシキ	7.0	7.3	1.9		5.4	やや強	4.7	4.8	4.2	3.9	5.3	4.6	やや強
ササニシキ	7.8	7.3	4.3		6.5	弱	5.9	6.0	5.3	4.5	5.7	5.5	弱

㊦ 岩手農試における成績 (病害虫料)

畑晩播による検定 (S 56)

品 種 名	病 斑 面 積 率 (%)			
	a	b	c	平 均
コガネヒカリ	50	40	40	43
トヨニシキ	20	40	40	33
キヨニシキ	40	40	40	40
ササニシキ	60	80	60	67

(3) 穂いもち

㊦ 育成地における成績

品 種 名	昭 52	53	54	55	56	平 均	総 合 判 定
コガネヒカリ	2.5	0	5.8	4.4	4.5	3.4	強
トヨニシキ	1.5	1.8	5.8	4.4	4.9	3.7	強
キヨニシキ	3.5	4.0	7.8	5.9	5.9	5.4	中
ササニシキ	6.5	3.8	10.0	8.7	6.3	7.0	弱

注) 数値は発病程度 0 (罹病を認めない) ~ 10 (全穂首いもちに罹病)

㊦ 依頼先における成績

品 種 名	秋 田 ・ 大 館							福 島 ・ 相 馬 (浜)						
	昭52	53	54	55	56	平均	総合判定	昭53	54	55	56	平均	総合判定	
コガネヒカリ	6	5.7	6.8	4.0	5.3	5.6	やや強	4.5	3.0	4.0		3.8	中	
トヨニシキ	5	5.0	5.2	4.3	4.7	4.8	強	3.5	2.6	1.7		2.6	強	
キヨニシキ	7	7.0	5.4	4.7	7.7	6.4	中	5.9	3.5	2.1		3.8	中	
ササニシキ	8	9.3	9.1	9.0	6.0	8.4	弱	4.4	5.1	8.3		5.9	弱	

品 種 名	愛 知 ・ 山 間						島 根 ・ 赤 名				東 北 ・ 栽 一							
	昭53	54	55	56	平均	総合評価	昭53	56	平均	総合評価	昭52	53	54	55	56	平均	総合評価	
コガネヒカリ	2.2	3.8	0.8	2.8	2.4	強	4.3	3.1	3.7	中	4.5	3.5	4	5.0	5.5	4.5	やや強	
トヨニシキ	3.0	5.9	2.4	3.0	3.6	強	3.1	2.1	2.6	強	3.5	3.5	0	6.5	4.5	3.6	強	
キヨニシキ	2.6	6.9	3.3	5.3	4.5	中	4.6	4.1	4.4	中	6.0	5.0	3	7.5	6.0	5.5	中	
ササニシキ	6.6	9.6	6.8	6.8	7.5	弱	6.1	4.8	5.5	弱	8.5	9.5	6	9.5	7.5	8.2	弱	

㊦ 岩手農試県南分場における成績

(昭 56)

施肥条件	品 種 名	発 病 穂 率 (%)				
		首いもち(a)	枝 梗 い も ち		a + b	a + b + c
			1 穂の $\frac{1}{3}$ 以上(b)	1 穂の $\frac{1}{3}$ 以下(c)		
標 肥	コガネヒカリ	0.14	0.21	0.42	0.35	0.77
	キヨニシキ	0.08	0.38	0.53	0.46	0.99
	トヨニシキ	0.41	0.24	0.16	0.65	0.81
	ササニシキ	0.13	0.32	0.64	0.45	1.09
多 肥	コガネヒカリ	0.26	0.51	0.58	0.77	1.35
	キヨニシキ	0.27	0.47	0.87	0.74	1.61
	トヨニシキ	0.29	0.29	1.00	0.58	1.58
	ササニシキ	0.40	0.68	1.64	1.08	2.72

注) 生産力検定調査圃場 (80 株全穂調査)

2) 白葉枯病抵抗性

山形農試庄内支場における成績

品 種 名	昭 53		54		55		56		総 合 判 定
	発病程度	判 定	発病程度	判 定	発病程度	判 定	発病程度	判 定	
コガネヒカリ	2.7	弱	2.9	弱	3.0	極 弱	2.7	やや弱	弱
トヨニシキ	2.6	弱	2.6	やや弱	2.6	やや弱	2.4	"	やや弱
キヨニシキ	2.4	弱	2.8	弱	3.4	極 弱	3.0	弱	弱
ササニシキ	2.0	やや弱	2.1	中	2.3	やや弱	2.0	中	中 ~ やや弱
サトホナミ	2.2	やや弱	2.8	弱	2.9	弱			弱

品 種 名	昭 52			53			54			55			56				総 合 判 定	
	出穂期 (月日)	不稔歩合 (%)	判 定	出穂規 (月日)	不稔歩合 (%)	判 定	出穂期 (月日)	不稔歩合 (%)	判 定	出穂期 (月日)	不稔歩合 (%)	判 定	A 区		B 区			判 定
													出穂期 (月日)	不稔歩合 (%)	出穂期 (月日)	不稔歩合 (%)		
コガネヒカリ	8.2	25.9	○	7.31	5.8		8.4	51.2	△	8.9	84.7		9.1	55.1	8.29	17.9	○	○
トヨニシキ	8.7	47.0	△	7.31	3.8	判 定 不 能	8.8	39.9	○	8.11	82.3		8.29	59.5	8.28	40.6	△	△
キヨニシキ	8.7	53.7	△	7.27	11.9		8.3	56.2	△	8.9	88.0		8.27	73.4	8.23	52.7	×	△
ササニシキ	8.3	58.9	△	7.30	14.5		8.7	46.5	△	8.9	90.9		9.2	60.5	8.31	46.5	△	△
サトホナミ	8.7	40.7	△	7.30	9.3		8.7	36.9	○	8.8	79.1		9.1	70.4	8.28	34.1	△	△

① 依頼先における試験成績

ア) 青森県農試藤坂支場（長期冷水かけ流し検定）

品 種 名	昭 53			54			55		
	観察判定	不稔歩合 (%)	総合判定	観 察 判 定	不稔歩合 (%)	総 合 判 定	観 察 判 定	不 稔 歩 合 (%)	総 合 判 定
コガネヒカリ		20.4	△○	判 定 不 能	99.5	判 定 不 能	判 定 不 能	調 査 不 能	判 定 不 能
トヨニシキ	△~△○	29.4	△~△○						
キヨニシキ	△×	48.9	△×						
ササニシキ	△~△○	19.1	△○						
サトホナミ	△~△○	17.4	△○						

イ) 福島県農試冷害試験地（冷水かけ流し検定）

品 種 名	昭 52			53			54			55		
	出穂遅延日数 (日)	不 稔 歩 合 (%)	判 定	出穂遅延日数 (日)	不 稔 歩 合 (%)	判 定	出穂遅延日数 (日)	不 稔 歩 合 (%)	判 定	出穂遅延日数 (日)	不 稔 歩 合 (%)	判 定
コガネヒカリ	9	46.9	○	7	25.7	◎	5	24.5	◎	10	77.5	判 定 不 能
トヨニシキ	6	82.5	×	6	46.5	○	4	71.6	△	6	95.3	
キヨニシキ	12	80.9	×	6	45.7	○	5	65.9	△	4	79.8	
ササニシキ	6	71.2	△	5	51.7	△	4	81.6	×	4	99.7	
サトホナミ	12	86.3	×	6	36.1	○	4	61.9	△	9	97.6	

(2) 人工気象室による検定

青森県農試藤坂支場における試験成績（人工気象室検定）

品 種 名	昭 53		54		55	
	不稔歩合 (%)	判 定	不稔歩合 (%)	判 定	不稔歩合 (%)	判 定
コガネヒカリ	41.6	×	76.9	△×	53.8	~△×
トヨニシキ	35.3	△×	72.0	△×	69.1	△×
キヨニシキ	8.0	△~	71.0	△	94.3	×
ササニシキ	39.4	△×	80.8	×	93.2	×
サトホナミ	14.5	△~	87.3	×	78.6	×

注) 処理方法 53年は穂染期処理（15℃、5日間）

54年、55年は開花期処理（15℃、7日間）

(3) 冷害年(昭和55年)における不稔発生程度

⑦ 育成地の成績

品 種 名	生 検 標 肥 区		生 検 多 肥 区		品 種 特 性 調 査	
	出 穂 期 (月・日)	不 稔 歩 合 (%)	出 穂 期 (月・日)	不 稔 歩 合 (%)	出 穂 期 (月 日)	不 稔 歩 合 (%)
コガネヒカリ	8. 13	26. 2	8. 12	22. 0	8. 9	20. 4
トヨニシキ	8. 13	23. 0	8. 12	27. 4	8. 9	32. 2
キヨニシキ	8. 10	39. 7	8. 10	44. 6	8. 8	36. 0
ササニシキ	8. 14	40. 4	8. 12	30. 7	8. 12	33. 3
サトホナミ	8. 12	28. 6	8. 12	19. 1	8. 19	24. 9

⑧ 福島県農試冷害試験地における成績

品 種 名	出 穂 期 (月・日)	不 稔 歩 合 (%)
コガネヒカリ	8. 16	28. 3
トヨニシキ	8. 20	53. 3
キヨニシキ	8. 16	34. 2
ササニシキ	8. 20	78. 6
サトホナミ	8. 20	66. 4
ササミノリ	8. 14	29. 6

⑨ 福島県農試相馬支場における成績(晩植)

品 種 名	出 穂 期 (月・日)	不 稔 発 生 程 度
コガネヒカリ	8. 25	3
トヨニシキ	8. 26	2
キヨニシキ	8. 23	5
ササニシキ	8. 24	5
サトホナミ	8. 25	3
ササミノリ	8. 23	4

注) 不稔発生程度 0~10%が1
11~20%が2
21~30%が3
31~40%が4
41~50%が5

⑩ 奨励品種決定現地試験における成績

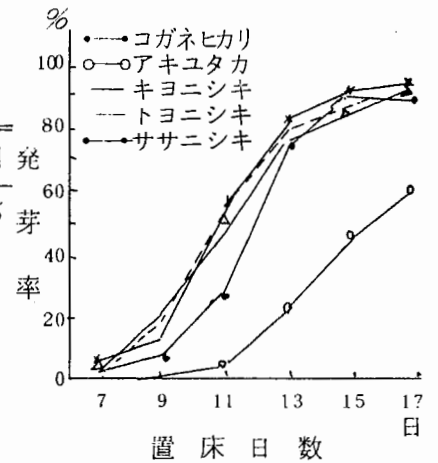
(昭55)

場 所	品 種 名	出 穂 期 (月・日)	不 稔 歩 合 (%)	場 所	品 種 名	出 穂 期 (月・日)	不 稔 歩 合 (%)
紫 波 (標肥)	コガネヒカリ	8. 15	22. 1	花 泉 (多肥)	コガネヒカリ	8. 13	14. 3
	キヨニシキ	8. 14	32. 1		キヨニシキ	8. 10	22. 6
	トヨニシキ	8. 15	32. 7		トヨニシキ	8. 14	15. 2
	ササニシキ	8. 15	48. 3		ササニシキ	8. 14	19. 8
紫 波 (多肥)	コガネヒカリ	8. 15	30. 0	藤 沢 (標肥)	コガネヒカリ	8. 11	19. 0
	キヨニシキ	8. 14	33. 1		キヨニシキ	8. 10	31. 6
	トヨニシキ	8. 15	45. 7		トヨニシキ	8. 14	25. 5
	ササニシキ	8. 15	53. 4		ササニシキ	8. 14	33. 2
和 賀 (標肥)	コガネヒカリ	8. 13	19. 8	陸 前 高 田 (標肥)	コガネヒカリ	8. 16	33. 6
	キヨニシキ	8. 9	27. 7		キヨニシキ	8. 17	55. 8
	トヨニシキ	8. 13	16. 9		トヨニシキ	8. 18	35. 8
	ササニシキ	8. 14	15. 9		ササニシキ	8. 18	51. 0

(4) 低温発芽性

ア 発芽の品種間差異 (55年産種子、56、6月調査)

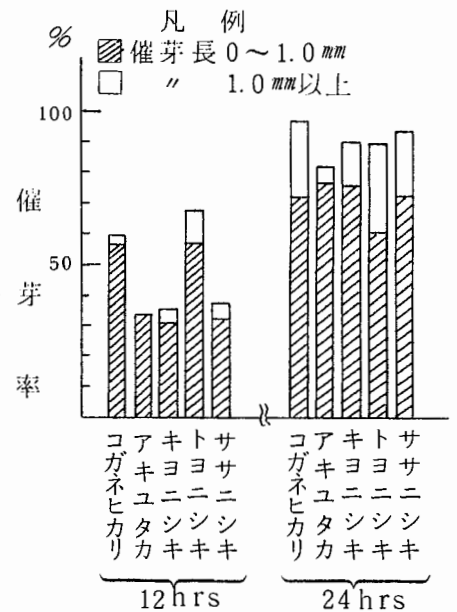
品種名	7日目	9日目	11日目	13日目	15日目	17日目
コガネヒカリ	2.0%	7.0%	27.0%	73.0%	87.5%	90.0%
アキユタカ	0.0	1.0	3.5	21.5	44.0	58.5
キヨニシキ	5.0	14.5	53.0	82.0	91.5	93.5
トヨニシキ	4.0	19.0	49.0	75.0	85.0	91.5
ササニシキ	1.0	17.0	55.0	78.0	87.0	90.5



注) 12℃定温器で湛水したシャーレに乾籾播種 (100粒×2反復)

イ 催芽の品種間差異 (同上)

品種名	催芽時間		12hrs				24hrs			
	催芽程度	未発芽 (%)	催芽長		催芽率 (%)	未発芽 (%)	催芽長		催芽率 (%)	
			0~1.0mm (%)	1.0mm以上 (%)			0~1.0mm (%)	1.0mm以上 (%)		
コガネヒカリ		36.5	58.0	0.5	58.5	4.0	70.5	25.5	96.0	
アキユタカ		66.5	33.5	0.0	33.5	19.5	74.5	6.0	80.5	
キヨニシキ		65.5	30.0	4.5	34.5	11.5	74.5	14.0	88.5	
トヨニシキ		38.5	57.5	9.0	66.5	12.0	58.5	30.0	88.5	
ササニシキ		62.5	32.0	5.5	37.5	6.5	70.5	23.0	93.5	



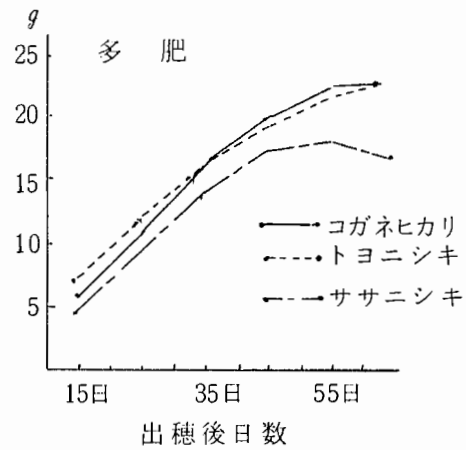
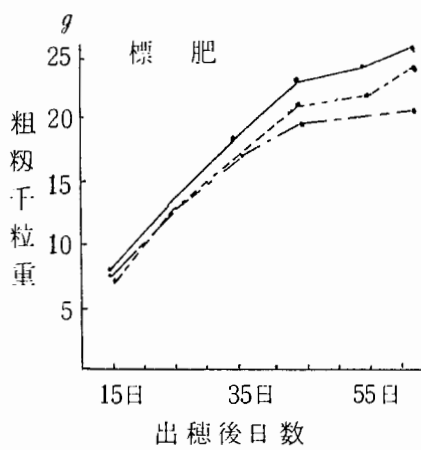
注) 12℃ 8日間浸種後 30℃で催芽 (200粒調査)

10.刈取時期と品質

1) 粗粳千粒重の増加

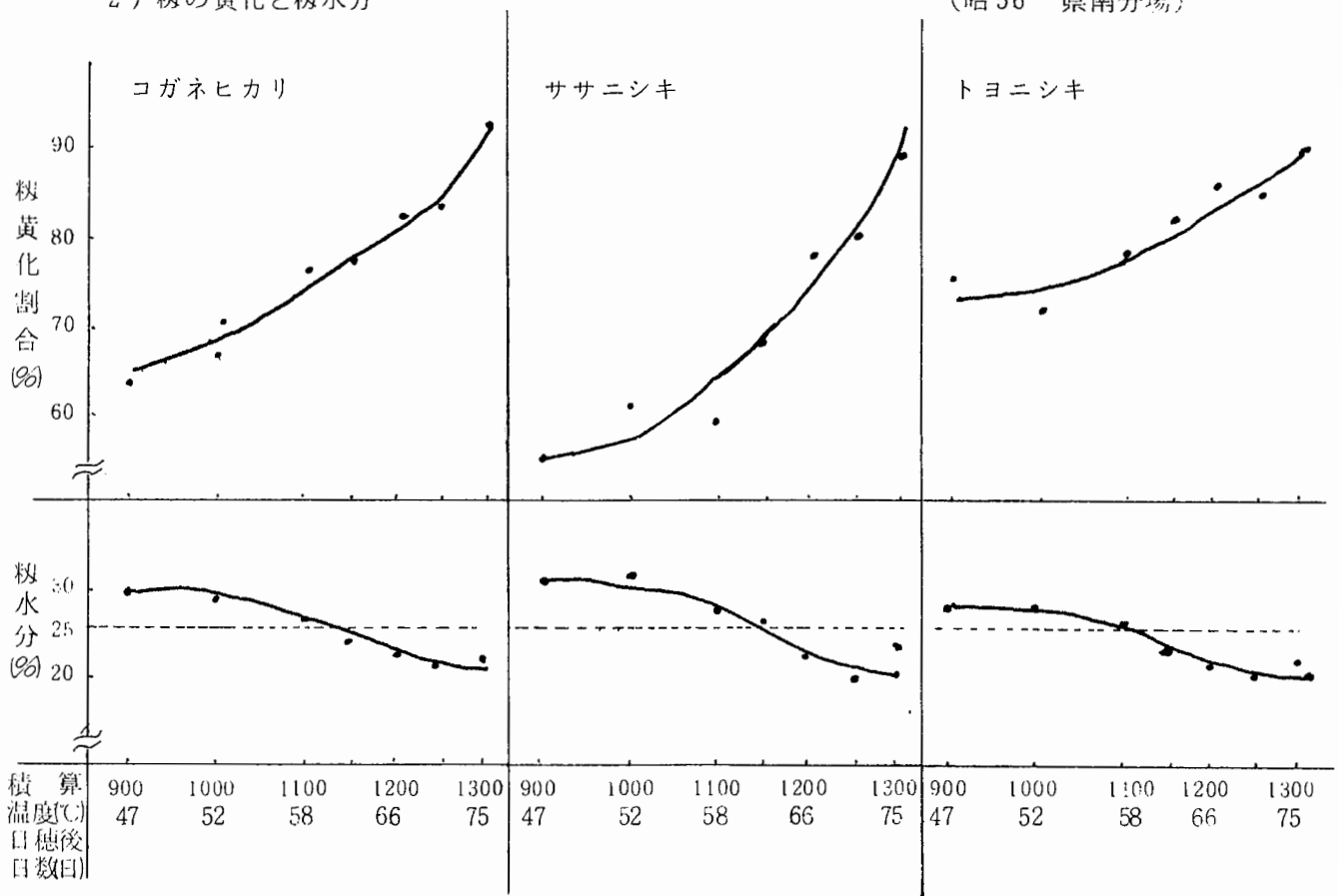
(昭56 県南分場)

品種名		出穂後日数	+ 15	+ 25	+ 35	+ 45	+ 55	+ 63
標肥	コガネヒカリ		7.8	13.4	18.2	22.8	23.9	25.5
	トヨニシキ		7.0	13.0	16.7	20.9	21.6	23.8
	ササニシキ		7.2	13.0	16.6	19.5	20.2	20.5
多肥	コガネヒカリ		5.8	10.9	16.0	19.9	22.5	22.8
	トヨニシキ		6.9	11.8	16.1	19.4	21.8	22.7
	ササニシキ		4.5	9.4	14.2	17.3	18.2	17.2



2) 粳の黄化と粳水分

(昭56 県南分場)

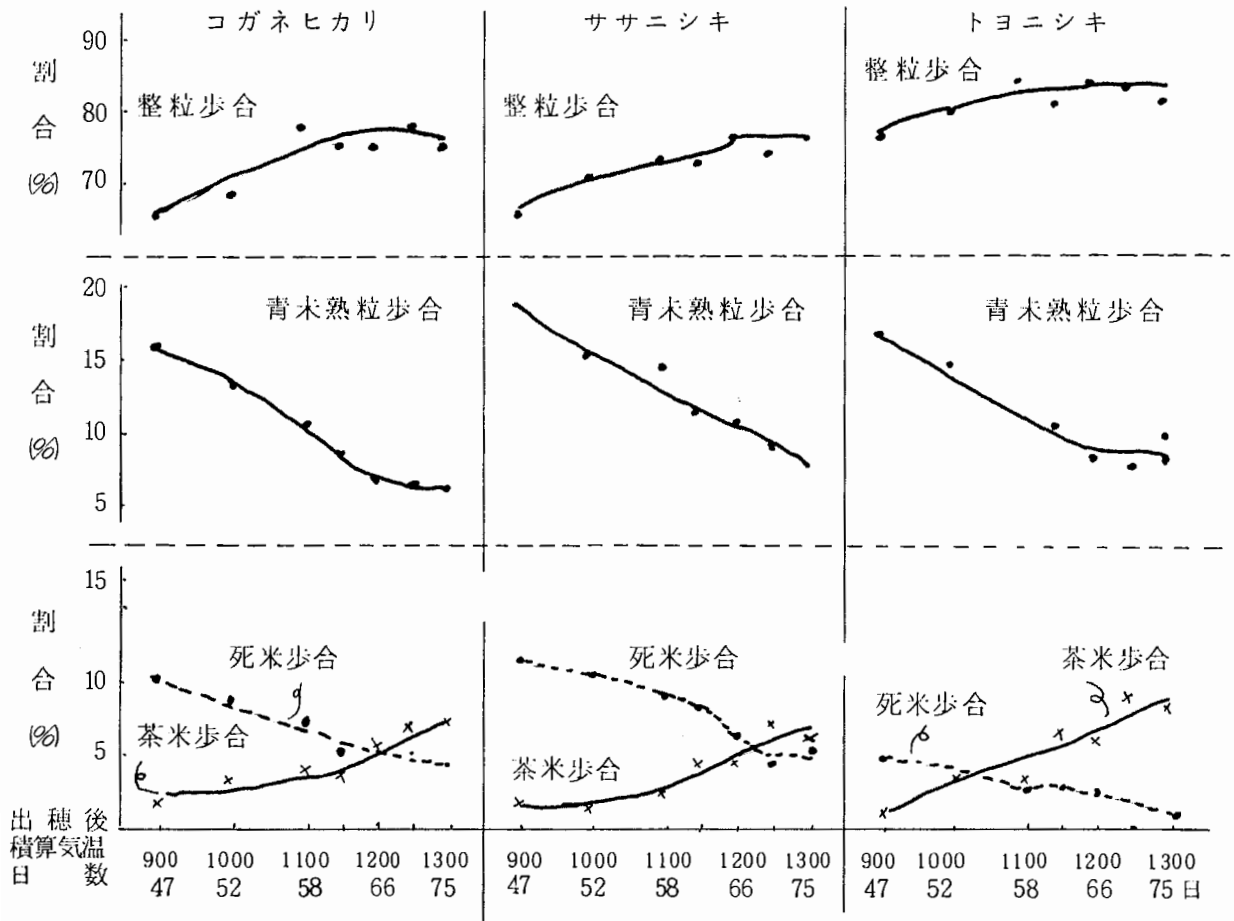


昭56は、出穂後の気温が低温に経過したため、登熟の遅れが大きく、粳の黄化が80%に到達したのはトヨニシキ1150℃、コガネヒカリ1200℃、ササニシキで1250℃となり、コガネヒカリはトヨニシキより遅い。

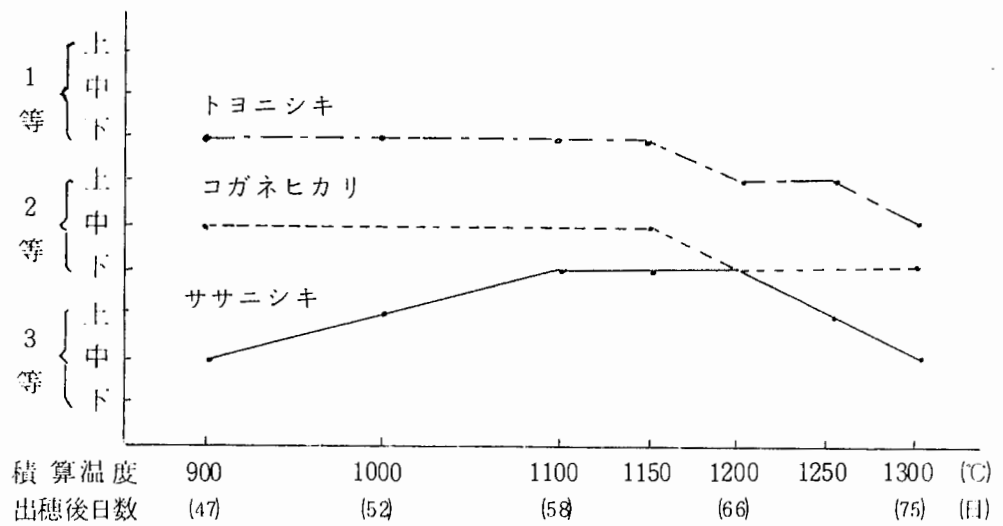
粳水分が25%以下になるのは1100℃～1170℃でコガネヒカリはトヨニシキより遅い。

3) 刈取時期と玄米の品質

(昭 56 県南分場)



4) 検査等級



◎ 水稻新品種「コガネヒカリ」(東北125号)育成従事者氏名

(宮城県古川農業試験場)

年次	昭49	50	51	52	53	54	55	56	57		
世代	交配	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10
育種科長 佐々木武彦	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
阿部 真三	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
松永 和久	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
涌井 茂						○	—	○			
丹野 耕一									○	—	○
育種部長 鈴木 啓司	○	—	—	—	—	—	—	○			
育種部長 及川 俊昭									○	—	○
経過	(交配)					茶米 2839	東北 125				コガネ ヒカリ

◎ 水稻奨励品種「コガネヒカリ」(東北125号)選抜従事者氏名

(岩手県農業試験場 県南分場・本場)

年次	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57
次長 上野 剛 南			○	○	
荻原 武雄 〃		○	○	○	
伊藤 公成 〃			○	○	
泉川 澄男 〃	○	○	○	○	
伊藤 吉郎 〃	○				
千葉 泰弘 〃	○	○			
小川 勝美 環	○	○	○	○	
次長 佐々木信夫 南	○				
次長 宮部 克己 〃		○			
分場長 高野 文夫 〃	○	○			
分場長 大川 晶 〃			○	○	
部長 渡部 茂 環	○	○	○	○	
経過	(配布) 生検予備		本検 (現地)	本検 (現地)	奨励 コガネヒカリ (東北125)